

5 故障警報 (自動試験機能)

熱感知部と回路のチェックを定期的に自動で行い、故障を検知したとき、「動作表示灯」と「警報音」でお知らせします。

動作表示灯が約10秒おきに3回点滅し、故障警報音が約50秒おきに「ビッビッビッ」、約1時間おきに「ビッ故障です ビッ故障です ビッ故障です」と警報音でお知らせします。スピーカ断線が故障した警報器は、動作表示灯が約10秒おきに3回点滅します。

ビッ 故障です
ビッ 故障です
ビッ 故障です



注意 自動試験機能では、全ての故障は検知できません。また、スピーカ断線時には故障警報音は発しません。

6 電池切れ警報 (電池切れ検知機能)

電池の残量が少なくなったとき、自動的に「警報音」でお知らせします。

注意 電池寿命は約10年間ですが、お客様のご使用状況により、電池寿命が短くなる場合があります。

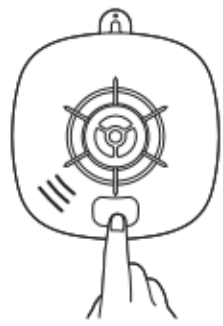
動作表示灯が約10秒おきに1回点滅し、電池切れ警報音が約50秒おきに「ビッ」、約1時間おきに「ビッ電池切れです ビッ電池切れです ビッ電池切れです」と警報音でお知らせします。

ビッ 電池切れです
ビッ 電池切れです
ビッ 電池切れです



7 故障・電池切れ警報の停止

テストボタンを押すと警報音が一時停止します。故障や電池切れの状態が継続している場合は、約24時間後に再度警報音でお知らせします。



- 一時停止中、再び操作するとその時点から約24時間停止します。
- 動作表示灯は故障や電池切れの状態が継続している間、点滅し続けます。故障警報が出ている場合は、火災警報動作が出来ない場合があります。お早めに販売店またはホーチキお客様相談窓口にご相談ください。

8 電池の取り外し、交換

注意 使用中は電池カバーを開けないでください。万一、電池交換が必要な場合はホーチキお客様相談窓口までご連絡ください。

本器と本器に使用の電池は一般不燃ゴミとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は、お住まいの自治体の規定に従ってください。分別廃棄する場合は下記の手順で電池を取り外してください。電池を廃棄する場合は、コネクタ部を絶縁テープで覆った上でお住まいの自治体の規定に従って廃棄してください。



- ①本器背面のシールのミシン目をツメなどで破り電池カバーを上へ引き上げて開ける。
- ②接続コネクタを引き抜き、電池を取り出す。交換の場合は新しい電池のコネクタを接続し、電池を入れ電池カバーを開める。

●消防庁通達「消防安第16号」によりすべての住宅用火災警報器は、最大10年を目途に交換する必要があります。使用開始から10年を経過した場合には、新しい警報器をお買い求めいただき、交換してください。

9 お手入れのしかた

熱感知部の周囲にホコリやくもの巣がつくと、熱を感知しにくくなります。警報器がより良い状態で動作するように、お手入れをお願いします。

- ・年に1回は乾いた布で熱感知部のホコリや、くもの巣を取り除いてください。
- ・表面の汚れは、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。



- 水道水等による丸洗いはしないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーは表面を傷めますので絶対に使わないでください。
- お手入れ後は「3.テストのしかた」に従ってテストをしてください。



10 故障かな?…と思ったら

テストなどで「故障かな?」と思ったら、修理やサービス依頼をされる前に、下記に従って点検および処置をしてください。

状態	点検	処置
火災ではないのに警報器が動作する。	コンロや発熱源の直近に警報器が設置されていないか? 調理の熱が滞留していないか?	コンロや発熱源から水平距離で50cm以上離れた位置に設置してください。 窓やドアを開け、換気してください。
テストボタンを操作しても動作しない。	テストボタンを押して電源が入れたか?	警報器の電源を入れてください。
警報音が約50秒おきに「ビッビッビッ」、約1時間おきに「ビッ故障です…」とお知らせする。	照明器具の近くに取り付けていないか?	照明器具から離してください。照明器具から離しても警報器が故障警報を発し続ける場合は本体の故障が考えられます。ホーチキお客様相談窓口までご連絡ください。
動作表示灯が約10秒おきに3回点滅する。	テストボタンを押す。	テストボタンを押しても音声が出なければスピーカ断線が考えられます。ホーチキお客様相談窓口までご連絡ください。
警報音が約50秒おきに「ビッ」約1時間おきに「ビッ電池切れです…」とお知らせする。	—	電池が消耗しているので新しい警報器をお買い求めください。
電源を入れてあるのに動作しない。火災警報音が鳴りやまない。	—	故障が考えられます。ホーチキお客様相談窓口までご連絡ください。

11 アフターサービス

- 保証書**
保証書はこの取扱説明書に付いています。保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間中に修理を依頼される場合**
保証期間はお買い上げ日から1年間です。お買い求めの販売店へ修理をご依頼ください。
修理依頼される時に必要な内容
ご住所・お名前・電話番号・商品名・商品記号・お買い上げ日・異常内容
- 保証期間後に修理を依頼される場合**
保証期間を過ぎての故障や電池切れについては有償での修理になります。お買い求めの販売店またはホーチキお客様相談窓口までお問い合わせください。
- 引きひもを使用する場合**
警報器には引きひもを取り付けられますが、本体落下の危険性などを考慮し、別売となっております。ご使用される場合は、ホーチキお客様相談窓口までお問い合わせください。

●住宅用火災警報器に関するお問い合わせ●

ホーチキお客様相談窓口

0120-919-856

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。受付時間 9:00~17:00
(土日・祝祭日・7月の第1月曜日・年末年始・ほか、ホーチキの定める休業日を除く)

注)ご使用の回線(IP電話など)によってはつながらない場合がございます。
※つながらない場合…03-4588-6720 (通話料はお客様ご負担となります)

ホーチキ
住宅用火災警報器
ハイガード
SS-FLシリーズ [熱式]

取扱説明書 保証書付

定温式 電池方式
自動試験機能付

●消防法令適合品
●住宅性能表示制度対応品

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。お使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

- ご使用前に**
- この警報器は、熱を感知して警報を発するものです。
 - 火災を防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の絵表示を使用しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合および警報機能に重大な悪影響を及ぼす場合を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う危険が想定される場合、物的損害が想定される場合および警報機能に悪影響を及ぼす場合を示しています。

❗ 「必ずおこなう」事項を示しています。

ご使用上の注意

- 警告**
- ・必ず電源を入れてください。電源を入れないと動作しません。
 - ・警報器は絶対に分解しないでください。
 - ・警報器を落下させたり衝撃を与えないでください。
 - ・取り付け時は転倒や落下などの危険があります。安全に作業できる足場を確保してください。
 - ・取付ネジや石こうぎは先端が鋭利になっています。取り扱いに十分注意するとともに、お客様の手の届かない所に保管してください。

- 注意**
- ・警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉めた時は、他の部屋で発生した火災による熱が警報器までとどかず動作しない場合があります。
 - ・火災時の熱は上昇するため、2階で発生した火災を1階に取り付けた警報器で見送することはできません。
 - ・警報器の前に物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
 - ・改装、改築工事などで粉塵が発生するおそれがある場合には、一旦警報器を取り外すか熱感知部にカバーをしてください。また、工事終了後はすみやかに再設置、カバーの取り外しをしてください。
 - ・この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
 - ・この警報器は、火災以外の熱(調理による熱など)により動作することがあります。
 - ・熱感知部や音響孔に綿棒、異物などを差し込まないようにしてください。誤動作や故障の原因になります。
 - ・音響孔に耳を近づけないでください。警報音により聴力障害などの原因となるおそれがあります。
 - ・必要以上の力でテストボタンを操作しないでください。警報器の落下、故障の原因となります。

仕様

商品名	住宅用火災警報器(熱式)
商品記号	SS-FLH-10HCC
警報音量	70dB/m以上
鑑定型式番号	鑑住第24~2号
定格	3V 300mA
寸法	100mm×100mm×41.5mm(引掛フックを除く)
電源	3Vリチウム1次電池(内蔵) CR-2/3AZC23P [Panasonic]
質量	約100g
使用温度範囲	0℃~+40℃(結露しないこと)
電池寿命	約10年*
感知方式	熱式(定温式)
警報音	音声警報「ビー、ビー、ビー 火事です 火事です」
試験機能	自動試験機能
警報出力	無電圧a接点(火災警報時ショート) 最大定格: DC30V、500mA 端子記号: F1、F2(無極性)

* 頻りに動作した場合など、ご使用状況により電池寿命が短くなる場合があります。

1 取り付ける前に

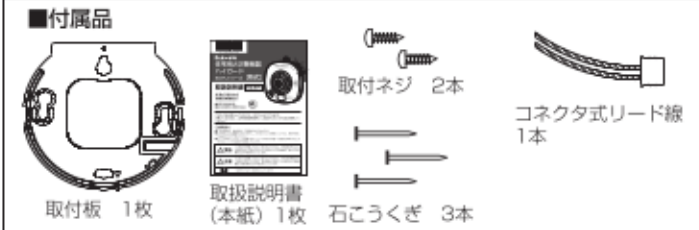
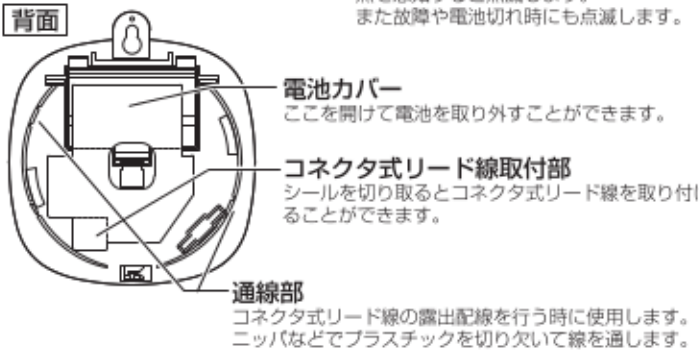
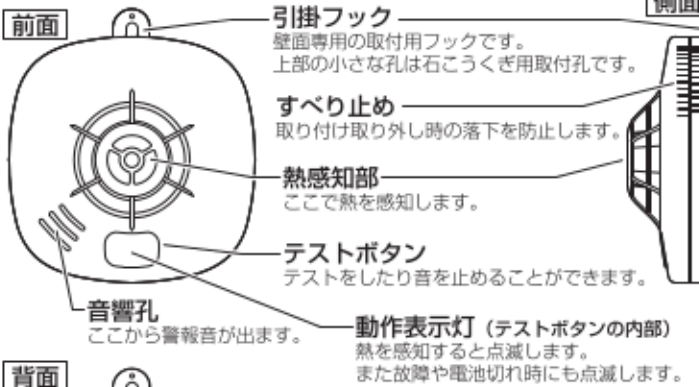
◆取付板を外す

取付板は本体にセットされた状態で梱包されています。取り付ける前に外しておきます。



警報器の背面を上にして外枠を持ち、もう片方の手の平で押しながら左に回します。1cmほど回れば外れます。

◆各部の名称と働き



●引きひも (別売)
この警報器には引きひもを取り付けることができます。テストボタンで同じ操作はできますが、ご利用の場合はホーチキお客様相談窓口までお問い合わせください。

◆電源を入れる

電池は本体に内蔵されていますので、そのまま電源を入れてください。

警告 電源を入れないと警報器は動作しません。

約1秒間テストボタンを長押しし、「ピッ」と鳴ったら手を離します。「監視を始めます」と警報器がお知らせし、電源が入ります。一度電源を入れると電源を切ることはできません。



◆警告シールを剥がす

警報器の前面に貼ってある警告シールは電源の入れ忘れを防ぐためのものです。必ず電源を入れてから警告シールを剥がしてください。



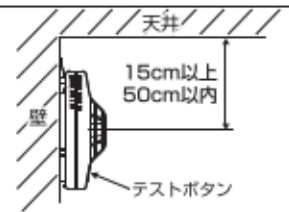
2 警報器の取り付けかた

注意 警報器は必ず正しい場所に取り付けてください。誤った場所に取り付けると火災による熱を正常に感知できなったり、誤動作の原因となります。取付場所は、政令等で定める基準に従い市町村条例で定められています。各市町村によって取付場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

◆警報器の取付場所

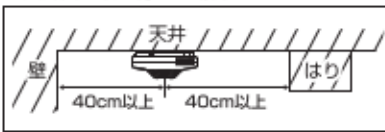
台所などの壁面および天井面。

・壁面に取り付ける場合

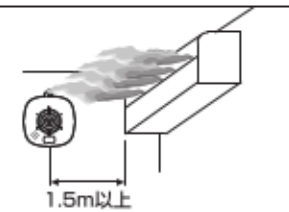


天井面より15cmから50cmまでの範囲に取り付けてください。

・天井面に取り付ける場合



壁面またははりから40cm以上離れた位置に取り付けてください。(狭い廊下などで壁から40cm以上離せない場合には中心付近に取り付けてください。)



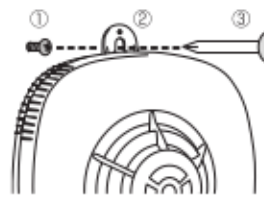
エアコンなどの空気の吹き出しから1.5m以上離して取り付けてください。

◆引掛フックを使った取り付け (壁掛けのみ)

引掛フックを使用する場合、取付板は外します。取付板が付いたままだと、取付面と引掛フックの間にすき間ができ、確実に固定できない場合があります。

■取付ネジを使用する場合

- ①柱や補強材などが通っている平坦で丈夫な場所を選び、付属の取付ネジ1本を途中まで締め込みます。
- ②警報器の上部にある引掛フックの孔をネジに掛けます。
- ③取付ネジを締め込みます。



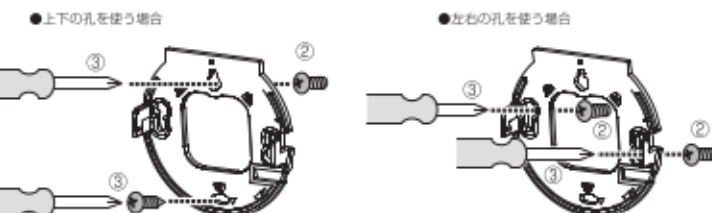
◆取付板を使った取り付け (壁掛け・天井)

取付板を使用する場合、引掛フックは使用しません。簡単に折れる構造になっていますので、必要に応じて折り取ってください。

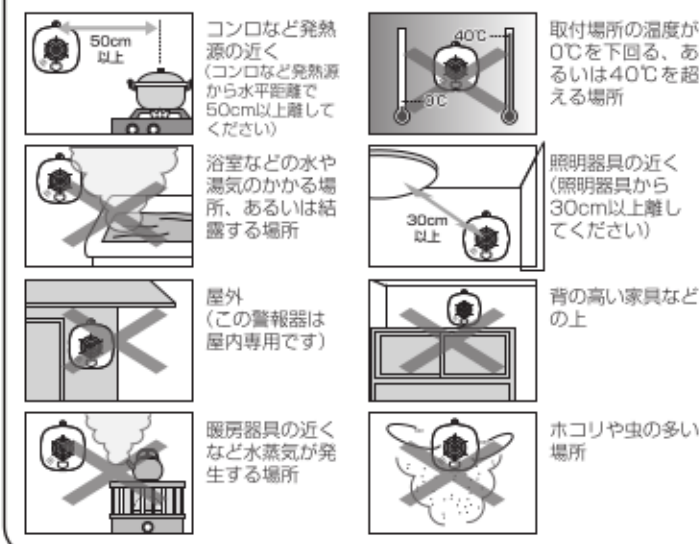
■取付ネジを使用する場合 (壁掛けの場合)

上下 (右図A・B) 左右 (右図C・D) どちらかの孔を使用し、取付ネジ2本で固定します。

- ①柱や補強材などが通っている平坦で丈夫な場所を選び、孔の狭い部分でネジ位置をマーキングしておきます。
- ②取付ネジを途中まで締め込みます。上下の孔を使うときはAだけ、左右の孔を使うときはCとD両方締め込みます。
- ③取付板の直線の部分を上にして、孔の広い部分から取付ネジを通します。取付ネジが効く狭い部分にすまして締め込みます。上下で使う場合は最後にBを締め込みます。



警告 次のような場所には取り付けないでください。(火災の熱を正常に感知できない場合や、誤動作や故障の原因になります。)



■石こうくぎを使用する場合

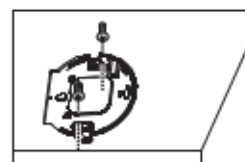
石こうくぎ用取付孔を使い、付属の石こうくぎを上から斜めに打ち込み、しっかり固定します。



注意 取付ネジは締めすぎないように注意してください。引掛フックが破損する場合があります。石こうくぎを下方から打ち込むとくぎが抜けやすく、警報器が外れる場合があります。

■取付ネジを使用する場合 (天井の場合)

天井への取付は、取付板と取付ネジを使用した取り付け方で左右の孔 (C・D) を使って取り付けます。補強材などが通っている平坦で丈夫な場所を選び、取り付けてください。



■石こうくぎを使用する場合 (壁掛けのみ)

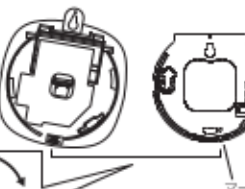
取付板の3か所 (右図E・F・G) に石こうくぎ用の孔があります。付属の石こうくぎを孔に入れ、打ち込んでください。(孔にそって打ち込むと抜けにくい角度で打てます。)



●石こうくぎを使って、天井に取り付けることはできません。石こうボードの天井に取り付ける場合は、ホームセンターなどで取付ネジに合った石こうボード用アンカーをお買い求めください。

■警報器のセット

取付板に警報器をセットする場合は、取付板にあるマークに警報器の下部を図のように合わせ、取付板の左右の突起部分を警報器本体の溝にはめ込みます。



警報器が止まるまで右に回します。

注意 取り付け後は必ずテストを行い、正常に動作する事を確認してください。(「3. テストのしかた」を参照)

3 テストのしかた

※このテストは警報器の機能と警報音を確認するものです。

注意 絶対にライターなどの炎などでテストをしないでください。警報器の故障や火災の原因になります。



注意 正しくご使用いただいても、電池の消耗や故障などで正常に動作しない場合があります。1カ月に1回、または1週間以上留守にされた時はテストを行ってください。

テストボタンを押し、「ピッ」と鳴ったら手を離す。

■正常の場合

警報音が「ビー、ビー、ビー 火事です 火事です 正常です」とお知らせし、動作表示灯が点滅。1回鳴ったら自動で停止し、監視状態に戻ります。

■故障の場合

「ピッ 故障です」とお知らせし、動作表示灯が点滅。

■電池切れの場合

「ピッ 電池切れです」とお知らせし、動作表示灯が点滅。

●故障または電池切れの場合は「10.故障かな?…と思ったら」をお読みください。

◆増設ブザーなどを接続している場合 (警報出力テスト)

(SS-FLH-10HCCIに外部接続機器などを接続している場合)

テストボタンを長押しし、「ピッ」と鳴った後も手を離さず「ピッ ピッ」と2回鳴ってから手を離すと「移報テストを始めます」とお知らせし、動作表示灯が点滅し、約1分間警報出力の確認ができます。

■警報出力の停止

1分経過したら自動で停止します。途中で止める場合はテストボタンを押します。

4 火災警報

◆火災の場合

火災により熱が発生し、警報器が熱を感知すると、動作表示灯が点滅します。連続して熱を感知すると「ビー、ビー、ビー 火事です 火事です」と繰り返し警報音を発生します。

- 火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。
- 火災の状況に応じて避難してください。

◆火災警報音を止めるとき

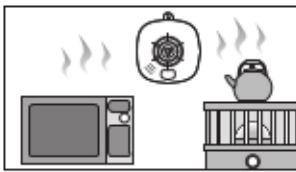
- 熱が無くなれば火災警報音は自動的に停止します。また動作表示灯も消灯します。
- テストボタンを押すと火災警報音を一時的に停止できます。

周囲の熱が残っている場合は、動作表示灯が点滅し続け、約14分後に再び火災警報を発生します。なお火災警報音を止めた後に、周囲の熱が無くなると自動的に監視状態 (熱を感知すると警報音を発生する状態) にもどります。

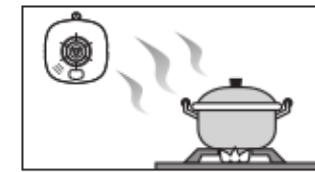
◆火災以外で動作する場合

注意 火災以外で動作した場合は、異常のないことを確認し、原因を取り除き、室内の換気をするか火災警報音を止めてください。警報器は取り外さないでください。

頻繁に動作すると電池寿命が短くなる場合があります。



レンジ、エアコン、ストーブなどの熱がかかった時



調理の熱が警報器にかかった時